

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有化が十分でない。	全職員で理念の共有をし、入居者様と向き合えるようになる。	研修や会議等を通して全職員で共有し、理念に基づくサービスの実践に取り組む。	12ヶ月
2	35	災害時に備えた地域との協力体制や、近隣住民との交流がない。	地域や近所の方々との繋がりを作る。	挨拶や、お声掛けをさせていただき顔見知りの関係となることから始めていく。	12ヶ月
3	49	コロナの影響により、外出支援が十分行えていない。	コロナ禍においてでも、外気に触れ、季節を感じながら生活できるよう支援する。	感染対策をしたうえで、施設敷地内での散歩や外気浴などを行う。また、その様子をご家族にお伝え出来る工夫をする。	12ヶ月
4	26	それぞれの入居者様にあった介護、認知症ケアができるよう介護力のアップが必要である。	個々の職員の介護力をあげ、チームの結束力を強くし、より良いチームケアができるようにする。	施設内研修やユニット会議を活用し、介護技術の習得、認知症ケアの学習をしていく。演習なども取り入れ、スタッフ同士で話し合う機会を設ける。	12ヶ月
5	11	スタッフからの意見の抽出や反映の機会を増やしていきたい。	スタッフが自由に意見を出し、それを実践に活かしていく。	意見を出しやすい雰囲気作りや意見を発表する場や機会を作る。	12ヶ月